厚生労働省 院内感染対策サーベイランス 薬剤耐性菌 判定基準 (Ver.4.0)

菌名	概要	菌名コード	微量液体希釈法の基準	ディスク拡散法の基準
メチシリン耐性黄色 ブドウ球菌(MRSA)	MPIPC または CFX が "R" の Staphylococcus aureus または選択培地で MRSA と確認された菌	1301、1303	MPIPC≥4µg/mL* または CFX≥8µg/mL*	CFX≦21mm*
バンコマイシン耐性 黄色ブドウ球菌(VRSA)	VCM が微量液体希釈法で"R"の Staphylococcus aureus	1301、 1303-1306	VCM≧16μg/mL*	
バンコマイシン耐性 腸球菌(VRE)	下記のいずれかの条件を満たす <i>Enterococcus</i> spp. ・VCM が微量液体希釈法で耐性 † ・VCM がディスク拡散法で"R" ・選択培地で VRE と確認された菌 注) 種の同定が行われていない <i>Enterococcus</i> sp.は除く	1201、1202、 1205、1206、 1209、1210、 1213-1217	VCM≥16μg/mL†	VCM≦14mm *
ペニシリン耐性肺炎球菌 (PRSP)	PCG が微量液体希釈法で耐性 + の Streptococcus pneumoniae 注)無菌検体とは以下に該当する検査材料コードを示す 401 (静脈血)、402 (動脈血)、403 (髄液)、404 (胸水)、 405 (腹水)、406 (関節液)、407 (骨髄液)、408 (心嚢水)	1131	無菌検体 PCG≥0.125µg/mL† 無菌検体以外 PCG≥4µg/mL†	
多剤耐性緑膿菌(MDRP)	下記のすべての条件を満たす Pseudomonas aeruginosa ・カルバペネム系(IPM、MEPM のいずれか)が微量液体希釈 法で耐性 † 、またはディスク拡散法で"R" ・アミノグリコシド系は AMK が微量液体希釈法で耐性 † 、また はディスク拡散法で"R" ・フルオロキノロン系が"R" (NFLX、OFLX、LVFX、LFLX、 CPFX のいずれか)	4001	IPM·MEPM≥16µg/mL† AMK≥32µg/mL† NFLX≥16µg/mL* OFLX·LVFX·LFLX≥8mL* CPFX≥4µg/mL*†	IPM·MEPM≤13mm† AMK≤14mm* NFLX·OFLX≤12mm* LVFX≤13mm* LFLX≤18mm* CPFX≤15mm*†
多剤耐性アシネト バクター属(MDRA)	下記のすべての条件を満たす <i>Acinetobacter</i> spp. ・カルバペネム系が"R"(IPM、MEPM のいずれか) ・アミノグリコシド系は AMK が微量液体希釈法で耐性 † またはディスク拡散法で"R" ・フルオロキノロン系が"R"(LVFX、CPFX のいずれか)	4400-4403	IPM·MEPM≥16μg/mL† AMK≥32μg/mL† LVFX≥8μg/mL* CPFX≥4μg/mL*†	IPM · MEPM≤13mm † AMK≤14mm † LVFX≤13mm* CPFX≤15mm* †
ー カルバペネム耐性 腸内細菌目細菌(CRE)	MEPM が耐性 † の腸内細菌目細菌	2000-2691、 3150-3151	MEPM≥2μg/mL†	MEPM≤22mm†

^{*} S,I,R の判定は CLSI2012(M100-S22)に準拠

[†]感染症発生動向調査(2025年4月7日施行)の基準に準拠